MOMENTIVE™

安全データシート

TSE3562(A)

版 *0.0* 発行日 03/17/2011
改訂日 00/00/0000 M00000007065

1．化学物質等および会社情報

商品名	:	TSE3562(A)
製品コード	:	M00000007065

会社名	:	モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン合同会社
住所	:	群馬県太田市西新町133番地
担当部門	:	製品安全管理本部
担当者	:	製品安全担当
電話番号	:	0276-31-1468
ＦＡＸ番号	:	0276-31-3061
緊急連絡先	:	製品安全管理本部
	:	電話番号 0276-31-1468
	:	夜間・休日 0276-31-4118
	:	ＦＡＸ番号 0276-31-3061

2. 危険有害性の要約

GHS 分類:
火薬類; 分類できない
可燃性/引火性の高いガス; 分類対象外
可燃性/引火性エアゾール; 分類対象外
支燃性/酸化性ガス; 分類対象外
高圧ガス; 分類対象外
引火性液体; 区分外
可燃性固体; 分類対象外
自己反応性化学品; 分類できない
自然発火性液体; 分類できない
自然発火性固体; 分類対象外
自己発熱性化学品; 分類できない
水反応可燃性化学品; 分類できない
酸化性液体; 分類できない
酸化性固体; 分類対象外
有機過酸化物; 分類できない
金属腐食性物質; 分類できない
急性毒性; 区分外; 経口
急性毒性; 区分外; 経皮
急性毒性; 分類対象外; 吸入 - 気体

急性毒性; 分類できない; 吸入 - 蒸気
急性毒性; 分類できない; 吸入 - 粉塵／ミスト
皮膚腐食性/刺激性; 分類できない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性; 区分外
呼吸器感作性; 分類できない
皮膚感作性; 分類できない
生殖細胞変異原性; 分類できない
発がん性; 区分2
生殖毒性; 分類できない
特定標的臓器毒性（単回暴露）; 区分外
特定標的臓器毒性（反復暴露）; 区分2; 肺
吸引性呼吸器有害性; 分類できない
水生環境急性有害性; 分類できない
水生環境慢性有害性; 区分外

GHS-ラベリング:



注意喚起語	:	警告
危険有害性情報	:	発がんのおそれの疑い。 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害のおそれ。

注意書き:

注意書き - 予防	:	使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 指定された個人用保護具を使用すること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
注意書き - 対応	:	暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
注意書き - 保管	:	施錠して保管すること。
注意書き - 廃棄	:	内容物/容器は、国際、国、都道府県、又は市町村の規則（廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）など）に従って処分する。

3．組成、成分情報

化学物質/混合物
混合物

化学的性質
シリコーン混和物

危険有害成分

化学名	CAS番号	化審法	KECI番号	濃度 %
酸化チタン（ＩＶ）	13463-67-7	(1)-558	KE-33900	1.0 - 10.0
シリカ	非開示	(1)-548	非開示	10.0 - 20.0

労働安全衛生法

化学名	政令番号
酸化チタン（ＩＶ）	191
シリカ	312

4．応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動する。 症状が継続する場合は医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合 : 接触した部分を石鹸と水で洗うこと。 症状が現れる場合には医療機関で診察を受ける。

目に入った場合 : 予防措置として、水で眼を洗浄する。 医師から詳しい助言を受ける。

飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないこと。 多量の水を飲む。 医師の手当てを受ける。

5．火災時の措置

適切な消火剤 : 泡消火剤・粉末消火剤・二酸化炭素消火剤

特定の消火方法	:	火元への燃焼源を断ち、上記の消火剤を使用して消火する。また延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺のタンク・建物等を冷却する。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。
消火を行う者の保護	:	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。

6．漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置	:	個人用保護具を使用する。 周辺への人の立ち入りを禁止する。 着火源を除去する。 風上から作業する。
環境に対する予防措置	:	下水溝、水路または地面に侵入しないようにする。
除去方法	:	大量の場合、土砂・土のうで流出防止後、空容器に回収する。少量の場合、ウエス等に吸収後、空容器に回収する。
二次災害の防止策	:	着火源を除去する。

7．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

安全取扱い注意事項	:	吸入しないように、換気の良いところで使用する 着火源から離して保管する―禁煙。
火災および爆発防護に関するアドバイス	:	熱や発火源から遠ざける。 製品を取り扱う時に使用するすべての道具は、接地しておく必要がある。

保管

保管場所および容器の必要条件	:	密閉し、屋内冷暗所に保管する
保管状態に関する追加情報	:	データなし
その他のデータ	:	通常状態で安定。

8．暴露防止および保護措置

設備対策

純水入りの眼洗浄ボトル
洗眼設備および安全シャワーを設置する。

保護具

呼吸器の保護	:	通常、呼吸用保護具は必要ない。
手の保護具	:	アドバイス: ゴムまたはビニール手袋
目の保護具	:	側面シールド安全メガネ
皮膚及び身体の保護具	:	長靴、前掛け等
適切な衛生対策	:	眼、皮膚、衣服への接触を避ける。 特に、閉所では十分な換気の確保が必要。 正しい産業衛生と安全規定に従って取扱う。 取り扱った後、手を洗うこと。 取扱中は飲食禁止および禁煙。

9．物理的および化学的性質

外観

形状	:	液体
色	:	白色
臭い	:	微臭

安全性データ

pH	:	データなし
沸点/沸点範囲	:	>260 °C @ 1.013 hPa 方法: データなし
引火点	:	284 °C

爆発範囲　下限	:	データなし
爆発範囲　上限	:	該当なし
蒸気圧	:	データなし
密度	:	1.09 g/cm3
水溶性	:	不溶性

10．安定性および反応性

避けるべき条件	:	知見なし。
混触危険物質	:	知見なし。
詳しい情報	:	指示したとおりに使用すれば、危険有害な反応は起こらない。
危険有害性のある分解生成物	:	本品はメチルポリシロキサンを含んでいるため、空気中で約150°C以上に加熱した場合、ホルムアルデヒドを少量生成する恐れがある。ホルムアルデヒドは、皮膚及び呼吸器感作性物質、咽頭刺激性物質、急性毒性物質、潜在的発ガン性物質である。

11．有害性情報

急性経口毒性	:	データなし
急性経皮毒性	:	データなし
皮膚への刺激	:	データなし
目への刺激	:	データなし
感作性	:	データなし
変異原性	:	データなし
ヒトでの知見	:	データなし

詳しい情報
データなし

12. 環境影響情報

残留性、分解性

残留性 / 分解性	:	データなし
生態系に関する追加情報	:	本品についての環境影響データはない。

13. 廃棄上の注意

製品	:	本製品は廃棄物処理法に基づいて産業廃棄物と分類される。本法および地域の条例に基づいて廃棄すること。

14. 輸送上の注意

Japan Dangerous Goods Regulatory Information:

消防法 指定可燃物 可燃性液体類（２立方メートル以上の場合），火気厳禁

国際輸送に関する国連勧告の定義上は、危険物に該当しない。

15. 適用法令

目録

Australia Inventory of Chemical Substances (AICS)	y（ポジティブ［正の］リスティング）
既存化学物質一覧 (EU)	y（ポジティブ［正の］リスティング）
Japan Inventory of Existing & New Chemical Substances (ENCS)	y（ポジティブ［正の］リスティング）
中国現有化学物質名録	y（ポジティブ［正の］リスティング）
韓国有害物質管理法 既存物質リスト	y（ポジティブ［正の］リスティング）
Canada DSL Inventory	y（ポジティブ［正の］リスティング）
Canada NDSL Inventory	n（ネガティブ［負の］リスティング）

Philippines Inventory of Chemicals and Chemical Substances (PICCS)	y（ポジティブ［正の］リスティング）
毒性物質管理条例	y（ポジティブ［正の］リスティング） TSCA インベントリに記載

少量規制や特別例と記述がある場合には、モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン合同会社までご連絡下さい。

国内法

: **消防法 指定可燃物 可燃性液体類（２立方メートル以上の場合）**

化学物質排出把握管理促進法（化管法）、新規指定化学物質（平成 20 年政令第 356 号）:
特定第一種指定化学物質: :

第一種指定化学物質: :

第二種指定化学物質: :

労働安全衛生法:
通知対象物質(第５７条の２): 酸化チタン（ＩＶ），シリカ

表示対象物質(第５７条): 報告なし

海洋汚染防止法: 酸化チタン

16．その他の情報

文献 : **ACGIH 化学物質のTLV**
化学品安全管理データブック（化学工業日報）

注意事項 : **本品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊用途に使用される場合には、貴社においてその安全性を事前に、ご試験ご確認のうえご使用ください。なお、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留するおそれのある用途には絶対に使用しないでください。**

その他の注意事項 : **その他（記載内容の問い合わせ先、引用文献等） 本記載内容は、現時点で弊社が入手した資料・情報・データに基づいて作成していますが、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合にはその用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、ご利用ください。**

ここに示された物理特性値やその他の値はこの製品の目標値でして、必ずしも保証値ではありません。

詳しい情報

適切な保護衣、手袋および眼/顔面用保護具を着用する。
静電気対策のため装置・機器のアースをする

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。　記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、このMSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。